

テーマ 中小企業は日本の礎(いしづえ)

日本の企業活動は、やや明るさが見えるとはいえ、世界的な資源高（エネルギー、食糧、希少金属など）を背景として、アゲンストの風圧に耐える改革と収益確保策の構築が求められています。

中小企業は、日本の産業を担う礎として、国益を創出するのみならず国民の豊かさの感得への貢献が期待されています。

そこで、企業活動の戦略方針、戦術要素、実行手段について私見を述べたいと思います。

<経営方針>の明確化と関係先との共有

- ・会社自身：企業統治システムの構築、業績の維持・向上、社員満足度の達成
- ・対取引先・顧客：信用、満足度の持続
- ・対世の中：存在価値の浸透、信頼性の保持、期待感の達成

戦略の構築と強かな実行力が常時試されています。

<経営資源>の最適化活用

ヒト・モノ・カネ・情報・時間のトータル・マネジメントの実践

- ① ヒト(人)：能力向上の意欲が強く体力、耐力のすぐれた人材の採用との活用
管理職は、リーダーシップ(統率力、指導力、説得力、訴求力など)が必要
経営者は、社員満足度に応える必要がある。ユーザーとの伴走も大切
- ② モノ(物・設備・施設)：
加工・生産設備、情報設備(各種データ・取引管理)、ロボット活用の搬送・
収納・物流設備、研究設備(公的機関の利用可能設備)
立地環境の整備(モノの受け渡し)
- ③ カネ(資金)：預貯金、債券、持ち株、国・公的機関の補助金、賞金など
- ④ 情報：世界の動向、業界の技術、製品の流れ、取得した知的財産権の活用、
M&A の判断
データ収録・活用システム
- ⑤ 時間：中期・長期計画の策定と毎年の見直し
情報や製品には、鮮度がある。
投入のタイミングの読みと実行力が成否を分ける。
すべての事象は時間の経過によって変化する。

<実行手段>

Plan (計画)・Do (実行)・Check (検討・吟味・改良)・Action (再実行)が必要である。ワンチームとしての一致・協働が成否を分ける。

★会社は、生き物であり、事象の変化に自在に対応できる能力が求められます。
(理事 後藤 昌生)

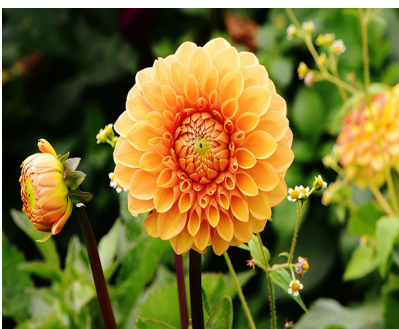
PHAの動き

- 会議：理事会：9/17、10/13、12/13、2/16 (理事長 桜井秀治)
：セミナー分科会：10/17(技術)、お試し講座(オンライン)：10/26
：2023年度第1回セミナー(技術)：11/9

関連団体の動き

- OSK：幹事会：10/6、
大阪勧業展 2023 出展：10/18～19(OSK ブースへ PHA も出展予定)
(事務局長 榎本直行)

コラム



「世界の状況が変わりつつあるね」「そうだね。世界は今、ウクライナ問題や中国、ロシアに関心が集中しているが、日本はもっと足元を改革すべきだよ」「どんなふうに?」「政治をもっと活性化すべきだね。先月内閣改造を行ったが、代わり映えないね。選挙制度を改正して、有能な若手が政界に進出し易くすべきだね。」「成程!」「そうすれば、政界が活性化して新しい道が開けるよ」

(広報分科会員 金子一郎)

寸鉄：幹部は現場を見て歩け：幹部のもつ情報はとかく単色になりがちという。本来の情報は天然色なのだが、上に昇ってくる間にアク抜きされてしまうのだ。成績の悪い職場、問題を抱えている職場、陽の当たらない職場をこそ見るべきだ。：土光敏夫「信念の言葉」より

どんなご意見・要望・問い合わせ事項でも結構です。下記へご連絡下さい。

URL：<https://npo-pha1.sakura.ne.jp/>

NPO 法人ものづくり人材アタッセ(PHA 経営強化法経営革新等支援機関)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2 番 5 号(マイドームおおさか 6 F)

理事長・広報分科会長 桜井 秀治

TEL：06(4792)7112/FAX：06(4792)7333